

対馬暖流は蛇行しながら北上 対馬暖流の流量は平年並み 今後の沿岸水温はさらに高めで推移

2025年6月2日～10日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は奥尻島の西方沖を流れるルートを取り、積丹半島沖に接近した後、本道寄りを北上しています（図c）。対馬暖流の北上流量は約1.2 Sv（1 Sv=10⁶ m³/s）で平年並みとなっています（6月流量の平年値は1.2 Sv）。50 m深水温は5～12 °Cで、道南の沖合の海域では平年並み、岩内湾以西の海域では平年より約1～3 °C高くなっています（図a,b）。

6月上旬の余市前浜水温は「かなり高い」となり（※1）、向こう1ヶ月の気温の予報も平年よりも高くなる確率が高くなっていますので（※2）、今後、沿岸水温は平年より高く推移する見込みです。

※1 余市前浜水温：<https://www.hro.or.jp/fisheries/research/central/section/kankyou/suion/2025.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/?region=010100&term=P1M>



余市前浜水温 気象庁 1ヶ月予報

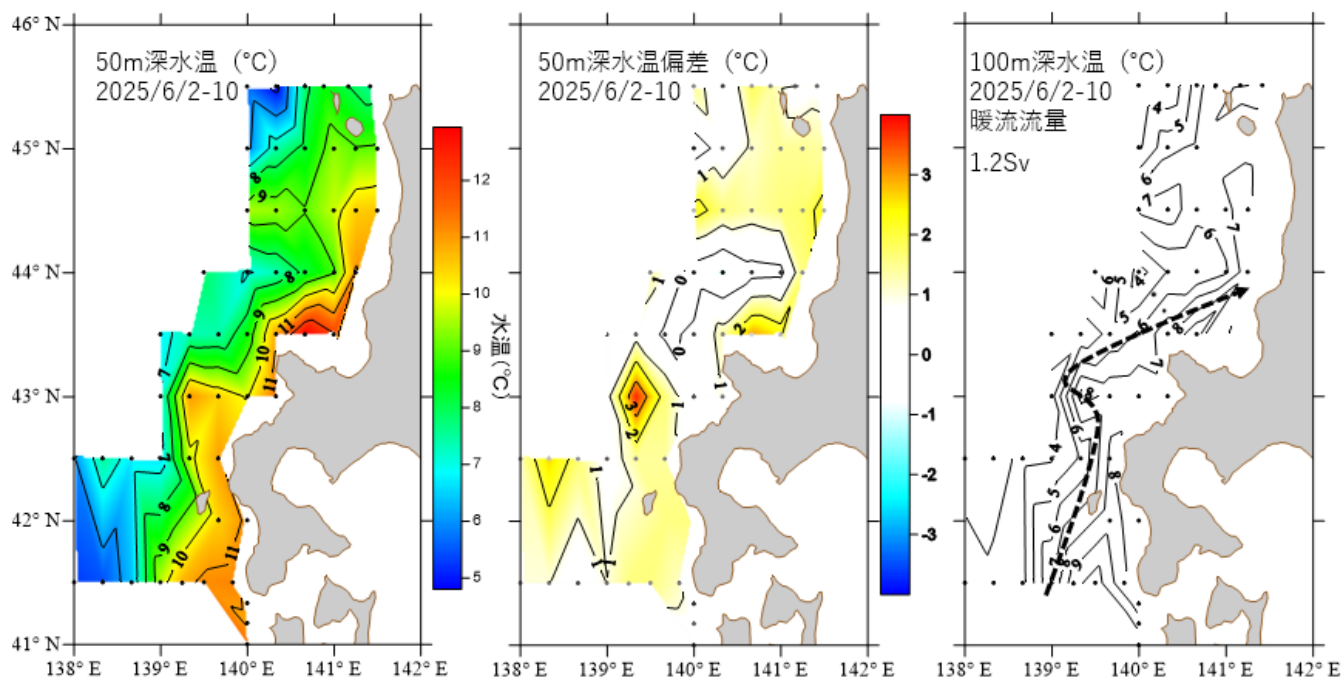


図 2025年6月上旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 100m深水温の水平分布と対馬暖流の流路（矢印）。水温偏差は過去30年（1989年～2018年）の平均値から算出。流量の単位はSv（=1×10⁶m³/s）。